

4. 森町のデジタル政策推進の方向性

4-1 デジタル政策推進の将来像

ここまで述べた動向や課題を踏まえ、本町においてデジタル政策を推進する際の将来像を次のとおり定めます。

<将来像>

デジタルの力で、もっと人にやさしく心^{やわ}和らぐ森町へ

本町は、三方を緑の山々に囲まれ、清流太田川が中央を流れる風情豊かなまちで、人々から「遠州の小京都」として親しまれているまちです。本町が持つ潜在的価値を活かしつつ、新しい時代の流れに沿い、「遠州の小京都」として本町の魅力をより高めるため、少子高齢化や人口減少などに伴う人口構成の変化、自然災害をはじめとする様々なリスクへの対応、参画と協働によるまちづくりの推進などに取り組むことが求められます。

このような背景のもと、『住む人も訪れる人も「心^{やわ}和らぐ森町」』をまちの将来像として掲げた第9次森町総合計画を中長期的な指針としてまちづくりに取り組んでいます。

本計画は、第9次森町総合計画の情報化分野に関連する個別計画として位置付けられ、様々なデジタル技術を活用して魅力あふれるまちづくりに取り組むため、『デジタルの力で、もっと人にやさしく心^{やわ}和らぐ森町へ』を将来像として掲げます。

4-2 デジタル政策推進に向けた施策の方向性

(1) 行政のDX

社会の変化への適応や業務効率化を進めるなど、DXによる業務刷新により、行政運営の維持・向上を目指します。

(2) 住民サービスのDX

多様な手段を提供するとともに、デジタル利用の支援を行うなど、住民サービスのDXで、誰にとっても便利な役場を目指します。

(3) 地域のDX

地域の安全・安心や地域の活性化に取り組むなど、DXで地域を支え、地域の魅力・活力を高めます。



図35:森町 DX 推進計画の将来像と推進方針